国分寺市にふるさとをつくる会

２７１号　　令和６年１０月１日発行

特定非営利活動法人
国分寺市にふるさとをつくる会
理事長　白木　昭憲
〒185-0024 東京都国分寺市泉町 2-6-2-404
TEL：090-6034-4616 fax：042-324-2125
E-mail:shiraki@way.ocn.ne.jp

特別寄稿

10 年以上継続して実施してきたエックス山のセミの抜け殻調査

公益財団法人日本自然保護協会（NACS-J）
自然観察指導員東京連絡会（NACOT）
小久保 雅之

国分寺にふるさとをつくる会からお声をかけて頂き、初めて私たち NACOT が国分寺エックス山のセミの抜け殻調査の担当をさせて頂いたのは 2008 年でした。東京近郊の住宅街の一角に残されたそれほど広くない保全緑地の雑木林ですが、ヒグラシが多いこと、ニイニイゼミの抜け殻が全くといっていいほど採取できないことに驚きを感じたのを覚えています。2011 年からは現在の A（柵に囲まれ下草も多く、人が入ることはほとんどない）・B（樹種はサイト A と大きな違いはないが、ベンチやテーブルがあり、人がいつでも入れるため地面は踏み固められていて落葉下草はほとんどない）の二つのサイトで調査を継続して実施させていただいています。

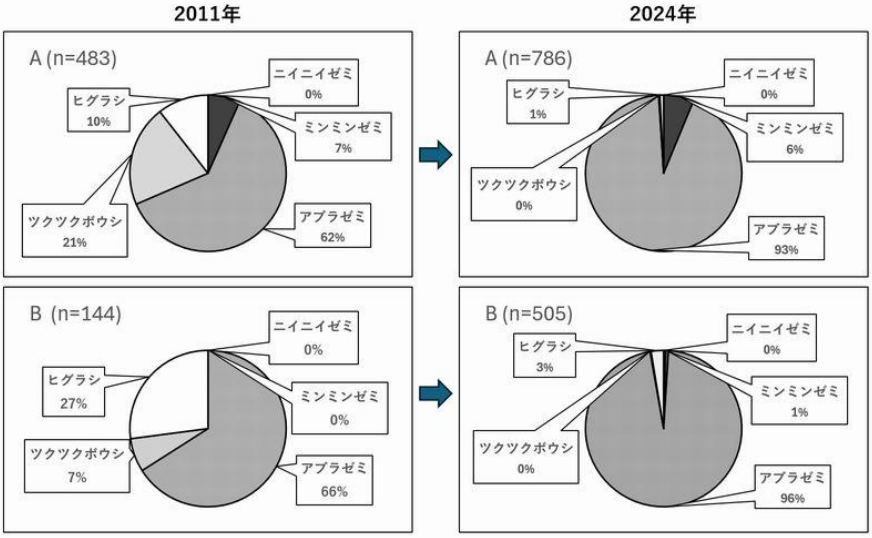
グラフは 2011 年の調査と 2024 年の調査で A・B それぞれのサイトでの抜け殻総数(n)と、各種セミの構成比を比較したものです。2011 年の種構成を A と B で比較すると、アブラゼミがどちらも 60%代で大きな差はないのですが、A ではミンミンゼミが 7%、ツクツクボウシが 21%、ヒグラシが 10%に対し、B ではミンミンゼミが 0、ツクツクボウシが 7 %と A に比べて比率が低いのに対し、ヒグラシは 27%と高い構成比を示していました。ヒグラシは下草の多い場所を好むと考えていたので意外な結果でした。

次に 2011 年と 2024 年を比較してみると A も B もアブラゼミの比率が高くなっていることに気付きます。これは主にアブラゼミの抜け殻数が経年的に増加しているためで、他のセミの抜け殻の数に大きな変化がなくてもその構成比は低くなります。ただし、ツクツクボウシとヒグラシについては、2017 年以降減少傾向にあり、特に A サイトのツクボウシは 2011 年が 101 個だったのに対し、2024 年には 2 個しか採取できませんでした。ツクツクボウシの減少に関しては、特定の木に産卵し、その木の周辺で抜け殻が多く採取できていた可能性があり、その木が伐採された後に急激に抜け殻数が減少したことが考えられます。アブラゼミはどんな環境にも適応できますが、他のセミは様々な環境の変化に影響を受けやすいのかもしれません。萌芽更新や安全管理上の老木の伐採による太陽光の入り方や、地面の乾燥状態の変化が、アブラゼミの増加と関係している可能性もありそうです。

様々なセミが棲息するエックス山は、セミ以外の生き物にとっても貴重な場所と考えられます。このような生物多様性豊かな環境を、我々の子供や孫達に残していくことは大切なことと考えています。

なお、調査方法の詳細や今までのデータはエックス山も含め全国各地の情報を「セミの抜け殻しらべ市民ネット」のホームページに掲載しております。是非そちらもご覧いただきたいと思います。

HP の URL：https://semigara.org/



10 月行事予定

- 7 日(月) 防災推進の街づくり仲間の会
  井戸端会議 9:30 室内プール前
- 8 日(火) 多摩の自然を楽しく学ぶ会
  神代植物公園
  9:30 JR 三鷹駅改札前
- 9 日(水) 森の自然塾運営会議
  9:30 恋ヶ窪公民館
- 12 日(土) ふるさとの会合同幹部会議
  14:00 恋ヶ窪公民館
- 16 日(水) 日吉町町内会 定例会
  13:30 日吉フードセンター
- 19 日(土) 姿見の池ホタルの会
  作業： 9:30 姿見の池
  会議：14:00 恋ヶ窪公民館
- 20 日(日) 森の自然塾 9:20 エックス山中央
- 20 日(日) 環境ひろば
  10:00 国分寺市役所
- 27 日(日) 防災推進の街づくり仲間の会
  14:00 恋ヶ窪公民館
- 28 日(月) 会報配布準備
  13:30 恋ヶ窪公民館
- 28 日(月) 多摩に歩く会会議(会報配布準備終了後) 14:15 恋ヶ窪公民館

９月森の自然塾　ムラサキシキブの観察と虫探し

スタッフ　近江 吉郎

エックス山樹林地を歩いているとムラサキシキブの木を見つけることができます。名前の由来は紫色の優美なさまを平安時代の女流文学者の名前を借り命名したそうで、花言葉は聡明、季題は秋です。6～7 月に淡い紫色の細かい花が群がり、香りもあります。秋には美しい紫色の実が群集します。その実は小鳥に人気で種を糞と一緒に蒔いてくれるので仲間が増えたのでしょう。樹林地内には近縁のコムラサキ・シロシキブも見つかります。

まずムラサキシキブの月ごとの変化を確認し、メインはエックス山のムシ探しです。虫が苦手な子もいます。蝉の抜け殻を触れない子もいましたが今年は大丈夫です。比較的樹木の少ないゾーンで見つけたり、捕まえたりしました。最後に集まって種類ごとに今日見つけたり捕まえたりしたムシを確認、そのあとは自然に返しました。熱心な調査で想定していたムシは全て見つかりエックス山は良好な自然環境で食物連鎖も上手く行っていることが確認できました。厳しい日差しの自然塾でしたが、熱中症対策を声かけあって涼風にも助けられ楽しく乗り切りました。

９月の多摩の自然を楽しく学ぶ会　都民の森～三頭大滝へ

スタッフ　冨村 隆子

武蔵五日市駅からバスで一気に標高約 1000 メートルの檜原村都民の森につきました。ここは冷温帯。気温の低い所に適した様々な植物を観察出来ます。森林館に向い渓流沿いの路を登ります。サワグルミ、シオジなどの巨木から幼木まで様々な樹木の中で、ひときわ目立つ樹齢約 300 年・幹回り 5.7m のトチノキは感動的でした。大自然の中でこの様な巨木を見上げると、その生命力に圧倒されます。落ちていた艶やかな実を一つ拾ってコッソリ持ち帰りました。林床には、カメバヒキオコシ、シラネセンキュウ、ヤマトリカブトなどが咲き始めて秋の訪れを感じさせます。森林館から大滝への森の道はウッドチップの敷かれた緩やかな登り坂。ハイイロチョッキリの落としたミズナラの小枝を観察したり、一本だけ咲き残ったレンゲショウマを愛でたり、植物観察を楽しみながら終着の三頭大滝につきました。瀧見橋のたもとの岩場に生える生きた化石とも言われるヤマグルマの大木を間近に観察出来たのも収穫でした。大自然の中で爽やかな初秋を満喫した一日でした。

参加者募集　ふるさとの自然と歴史を訪ねる会
「下町で平和や自然、歴史を考える」

今年で「第五福竜丸」がビキニ環礁の水爆実験で被爆してから 70 年。ゴミ山の廃船を草の根運動から保存実現され 56 年、核被害を伝え続ける実物の存在意義は大きいです。隣接する夢の島熱帯植物園、門前仲町の深川不動堂、北砂にある東京大空襲・戦災資料センター(や深川江戸資料館)と下町の施設を巡り平和・自然や歴史を考えましょう。(主な移動は公共交通機関を利用)

日　時：11 月 14 日(木)　小雨決行
集　合：10:00 東京メトロ有楽町線新木場駅改札口
持ち物：弁当・飲み物・雨具・敷物・健康保険証
会　費：1200 円（入館料含む）
申込み：メール・SMS・又は葉書で、「訪ねる会参加」として住所・氏名（フリガナ）・携帯番号記載
〒185-0035 国分寺市西町 3-1-18
野沢森生宛　080-5525-7796
メール：tama.shizen.rekisi@gmail.com
締め切り：11 月 11 日(月)　必着（先着 30 名）

参加者募集　ふるさとの森自然観察会
「神代植物公園とバラを見学しよう」

秋深まる植物公園、紅葉がきれいでしょう！

日　時：11 月 11 日(月)　雨天中止
集　合：9:00 JR 西国分寺駅南口噴水前
解　散：12:00 頃
会　費：500 円（入場料は各自負担）
持ち物：弁当・飲み物・雨具・敷物・健康保険証
申込み：ハガキまたは電話で下記へ
ふるさとの森自然観察会 飯島太平治
〒187-0042 東京都小平市仲町 27-22
電話：042-342-1167
締め切り：11 月 9 日(土)　必着

「里山へ Go!」@姿見の池緑地　のご案内

東京都が主催する保全地域体験プログラムです。森の自然塾のスタッフが講師として協力します。

日時：10 月 27 日(日) 9:30～12:30
場所：国分寺姿見の池緑地保全地域
活動内容：
・自然観察　・保全活動（下草刈り、伐採作業）
・クラフト体験
募集：30 名（抽選）

東京都環境局「里山へ Go!」の HP か、下の QR コードから申込みください。
(申込期間 9/25～10/9 13 時)

ホームページ
国分寺市に
ふるさとをつくる会
ＱＲコード

環境保全に配慮し、
人に、社会に、地球に
優しい製品及び
サービスを提供します
リオン株式会社
https://www.rion.co.jp/

エックスやま
本社はＸ山に位置します
自然環境保護に賛同
賛助会員　TEL 042-321-5441
国分寺市日吉町4丁目13番2
中央システム技研(株)
代表取締役　川野　誠
(長野県下伊那郡出身)